

敦賀市立看護大学【教員研究業績】＜2019年度(2019.4～2020.3)＞

【著 書】

1. 日本レクリエーション協会編, 鈴木隆史他6名[執筆]. スポーツ・レクリエーション指導者養成テキスト : スポレク活動で健康寿命を延伸. 日本レクリエーション協会. 2019年9月

【論 文】

1. Nakahori N, Sekine M, Yamada M, Tatsuse T, Kido H, Suzuki M. Discrepancy in the perception of symptoms of cognitive decline between older adults and their family members : results of the Toyama dementia survey. BMC neurology. 19(1), 338. Doi: 10.1186/s12883-019-1581-2. 2019-12 [査読あり]
2. Makie Nagai, Yuko Morikawa, Yuko Hamazaki, Hideaki Nakagawa. An assessment of stress coping for mental health promotion among Information Technology employees in Japan. Archives of Depression and Anxiety (Open Journal). <https://www.peertechz.com/articles/ADA-5-137.php>. 2019-08-21 [査読あり]
3. Nakahori N, Sekine M, Yamada M, Tatsuse T, Kido H, Suzuki M. Socioeconomic status and remaining teeth in Japan : results from the Toyama dementia survey. BMC public health. 19(1), 691. doi:10.1186/s12889-019-7068-7. 2019-06 [査読あり]
4. 家根明子, 小野塚元子, 長瀬雅子. 認知症初期集中支援チーム員による当事者の認知症への対処に関する意思決定に向けたかかわり. 日本老年社会科学. 41(4), 400-407. 2020年 [査読あり]
5. 村田尚子, 河野益美. 高齢化・重度化する障がい者グループホーム入居者の看護課題と訪問看護事業所との連携. 敦賀市立看護大学ジャーナル. 4, 1-11. 2020年
6. 池原弘展, 横山浩誉, 山崎加代子, 家根明子, 河合正成, 交野好子. 福井県美浜町郷市区における「災害から命を守る健康づくり」に関する調査報告. 敦賀市立看護大学ジャーナル. 4, 12-21. 2020年3月 [査読あり]
7. 長井麻希江, 森河裕子. IT企業の新入社員を対象としたストレスマネジメント行動促進プログラムの評価. 日本産業看護学会誌. 6(1), 24-30. 2019年10月 [査読あり]
8. 木谷尚美, 沼本教子. 福祉の現場から 初期認知症の人の意思把握を目指した取り組み. 地域ケアリング. 21(10), 52-55. 2019年9月
9. 小林茂光, 池原弘展, 友滝愛, 賢見卓也. 仕事とお金の個別相談に参加したがん患者とその家族が抱える経済的な悩み : テキストマイニングによる相談内容の分析. Financial Distress of Cancer Patients and the Families: Analysis of Individual Consultations Data through Text Mining. 日本緩和医療学会誌. 14(2), 139-144. 2019年6月 [査読あり]
10. 杉浦良啓. 謝罪, 情動, コミュニケーション : 特集 それって“いざこざ”? : 医療現場におけるコンフリクト・マネジメント : 知っておきたいキーワード. 救急医学. 43(5), 536-540. 2019年5月
11. 石橋佐枝子. フィンランドにおける精神医療 : オープンダイアログを視察して. 姫路獨協大学看護学部紀要. 3, 59-67. 2019年

【その他】

<学会発表>

1. Miyuki Suzuki, Aki Ibe, Toshie Tsuchida. Cold Sensitivity among Female Clinical Nurses : A Nationwide Status Survey in Japan. ICN Congress 2019(Singapore). 2019-06

2. 原田政美. 徳川権力と魚問屋－御肴納入制度の展開－. 市場史研究会(東洋大学). 2019年12月7日
3. 鈴木みゆき, 松久智美, 土田敏恵, 伊部亜希. 病院で就労中の女性看護師における手の表面皮膚温の変動と看護技術による影響. 第39回日本看護科学学会学術集会(金沢市). 2019年12月
4. 伊部亜希, 林愛乃, 佐飛裕一, 白石晴美. 要介護高齢者の夜間睡眠と入浴との関係. 第1回看護人間工学会学術集会(横須賀市). 2019年11月
5. 柏谷愛, 野路由佳利, 廣瀬絵里, 前川真由美, 山崎加代子. 中堅看護師が認識している職場における人的支援に関する文献検討. 第50回日本看護学会学術集会-看護管理-(名古屋市). 2019年10月
6. 土田亜沙美, 菅谷佳子, 前田美紀, 松本志恵, 山崎加代子. A病院看護師の手術室看護に対する認識度と関心. 第33回日本手術看護学会年次大会(岡山市). 2019年10月
7. 木谷尚美, 沼本教子. 老年期を初期認知症とともに生きる人への人生の統合性の獲得を目指した看護支援プログラムの効果. 第20回日本早期認知症学会(岐阜). 2019年10月20日
8. 木谷尚美(シンポジスト). 初期認知症の人の意思把握を目指した取り組み : 現在・過去・未来を語り, オレンジノートに遺す支援プログラムの実践を通して. 日本認知症ケア学会北陸・甲信越ブロック大会(福井). 2019年10月6日
9. 伊部亜希, 林愛乃. グループホーム入居者の夜間睡眠と排泄回数および室内照度との関係. 第18回日本看護技術学会学術集会(福井市). 2019年9月
10. 末永文香, 池原弘展. 重症心身障害児(者)病棟で用いている埋め込み式便器の排泄時の跳ね返りによる汚染程度の把握-第2報-. 第45回日本重症心身障害学会学術集会. 2019年9月21日
11. 石橋佐枝子, 長井麻希江, 岡田佳詠, 秋山剛. 超簡易型認知行動療法を活用した中小企業における一次予防の効果-自由記載内容の質的分析-. 第19回日本認知療法・認知行動療法学会. 2019年8月30日
12. 長井麻希江, 大江悠樹, 堀越勝, 中村主計, 喜多義邦. 不眠を対象とした看護師による短時間認知行動療法の評価(パイロットスタディ). 第19回日本認知療法・認知行動療法学会. 2019年8月
13. 齊藤史恵, 吉川由希子, 山野内靖子, 齋藤美紀子, 中久喜町子, 中村祥子. ファミリーサポートセンターにおける病児・病後児対応に関するアドバイザーの役割意識. 日本小児看護学会第29回学術集会(札幌市). 2019年8月
14. 長井麻希江. 短時間認知行動療法に基づく外来看護面接が不眠・抑うつ改善をもたらした一事例. 第29回日本精神保健看護学会学術集会. 2019年6月
15. 山路香織, 上野山真希, 鈴木隆史. 在宅看護における訪問看護師が抱く葛藤. 第18回日本ケアマネジメント学会研究大会(仙台市). 2019年6月

<交流集会>

1. 法橋尚宏, 西本康世, 平谷優子, 吉川由希子. 日本初の新しい”家族ビリーフシステム理論(FBST)”とその臨地応用. 第39回日本看護科学学会学術集会(石川県金沢市). 2019年12月
2. 法橋尚宏, 島田なつき, 道上咲季, 吉川由希子, 平谷優子, 西本康世. 理論と実践の架け橋・往還”家族同心球環境理論研究会”とCSFET式ナースの家族お悩み相談室”の運営・参加から. 日本看護研究学会第45回学術集会(大阪市). 2019年8月

<講演>

1. 鈴木隆史. 令和元年度女性のための元気づくりスクール. あいあいプラザ(敦賀市). 2020年1月
2. 山崎加代子. 福井県防災士養成研修 : 災害医療. 福井県立大学(小浜), アイパーク今立. 2019年11月
3. 杉浦良啓. 選択:運動・スポーツ障害について. 平成31年度敦賀市立看護大学教員免許状更新講習. 敦賀市立看護大学. 2019年8月21日
4. 山崎加代子. 臨床指導者講習会 : 成人急性看護学等. 福井県看護協会. 2019年7月
5. 山崎加代子. 敦賀市管工事協同組合安全大会 : 応急手当. あいあいプラザ(敦賀市). 2019年6月

6. 高木俊介, 石川真紀, 森田展彰(登壇者), 石橋佐枝子(ファシリテーター). オープンダイアログを日本に広める. オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン 2019 年総会記念イベント. 東京大学(本郷). 2019 年 6 月 2 日

<報告>

1. 吉川由希子. ファミリーサポートセンター事業における病児・病後児対応の現状とアドバイザーの認識に関する調査. 第 3 回敦賀市立看護大学研究報告会. 2019 年 10 月 3 日
2. 池原弘展. 開胸手術での手術部位感染サーベイランスの効果と感染のリスク因子. 第 3 回敦賀市立看護大学研究報告会. 2019 年 10 月 3 日
3. 柳澤奈美. 携帯超音波診断装置を使った妊婦における下肢浮腫測定の定量化の試み. 第 3 回敦賀市立看護大学研究報告会. 2019 年 10 月 3 日
4. 窪田裕子. 産後 1 年半までの女性の血圧と体重の実態. 第 3 回敦賀市立看護大学研究報告会. 2019 年 10 月 3 日

<その他の研究業績>

1. Yuichi Hattori, Martin C. Michel(Topic Editors). G Protein-Coupled Receptor Kinases (GRKs) and Beta-Arrestins : New Insights into Disease Regulators. *Frontiers in Pharmacology*. <https://doi.org/10.3389/fphar.2019.01654>. 2020-01. (原著論文: Sailesh Palikhe, Hiromi Yamazaki, Yuichi Hattori, et al. Regulatory role of GRK2 in the TLR signaling-mediated iNOS induction pathway in microglial cells. *Frontiers in Pharmacology*. doi:10.3389/fphar.2019.00059. 2019)
2. 大下邦幸監修. *Sycamore Synergies 5 : A Collection of Essays by the Tsuruga Nursing University Students*. 敦賀市立看護大学. 2019 年 4 月
3. 大下邦幸監修. *TNU Project Work 3*. 敦賀市立看護大学. 2019 年 4 月